

2024年歴史教育者協議会 全国大会 8月3日、8月4日

第75回 東京大会

大会テーマ

地域に根ざし、平和・人権・命をつなぐ



会場 明治大学 和泉キャンパス第一校舎 (オンライン参加可)

▶アクセス：京王電鉄京王線・井の頭線「明大前」駅から徒歩5分

全体会 8月3日(土) 10時～12時30分

挨拶 本庄豊 (歴史教育者協議会大会委員長)

基調提案 山田朗 (歴史教育者協議会委員長・明治大学教授)

記念講演 日韓のモヤモヤから出会った新たな世界

加藤圭木氏 (一橋大学) & 朝倉希実加氏 (以下、加藤ゼミ)・李相眞氏・沖田まい氏
熊野功英氏・滝波明日香氏・根岸花子氏・藤田千咲子氏



ソウル・龍山博物館へのゼミ踏査

一橋大学社会学部の加藤圭木ゼミナールの学生たちがつくった近代日朝関係史入門書『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』(大月書店、2021年7月)は、K-POP ファンにも普及するなど大きな注目を浴びました。大学に入るまで歴史問題に関心がなかったという学生たちは、いかなる教育を受け、どんな思いで入門書をつくることになったのでしょうか。この本の刊行後、市民運動に参加するなど活動の場を広げたゼミ生は、『ひろがる「日韓」のモヤモヤとわたしたち』(2023年11月)、『大学生が推す 深堀りソウルガイド』(2024年3月)を刊行し、活動の幅を広げています。こうした経験は、ゼミ生の生き方へのどのような影響を与えたのでしょうか。彼らを指導する加藤圭木氏とゼミの学部生・院生のみなさんからの、私たち歴史教育者へのメッセージに耳を傾けたいと思います。

加藤圭木氏(一橋大学)

一橋大学大学院社会学研究科教授。著書に『紙に描いた「日の丸」——足下から見る朝鮮支配』(岩波書店)、『だけが日韓「対立」をつくったのか——徴用工、「慰安婦」、そしてメディア』(大月書店)他。

加藤ゼミの学部生・院生・卒業生

朝鮮近現代史・日朝関係史ゼミナール。学部3・4年生に加え、卒業生の大学院生も参加している。平和や人権、ジェンダーの観点を大事に、歴史を学び、考え、語り合う。Xアカウントは @info_moyamoya。

大会日程 *8月2日(金) 13:00～15:30に社員総会・会員集会

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月3日(土)			全体会				分科会 I				地域に学ぶ集い		
8月4日(日)		分科会 II			分科会 III			閉会集会					
8月5日(月)	現地見学 A・B・C・Dコース												

■大会参加費 (事前申込みは割引になっています)

事前参加登録費 会員/教員5,500円(当日現地参加は6,000円)

学生・U25会員・市民1,500円(当日の現地参加は2,000円)

高校生以下無料(事前登録が必要です)

教員退職者は、会員・教員参加費での申込みにご協力ください。



分科会 8月3日(土)13:30~17:30 8月4日(日)9:00~14:30

- 分科会では、各地の学校・地域で取り組まれた授業実践や研究の報告をうけて交流します。
- *分科会別レポート一覧は、歴教協のHPおよび『歴史地理教育』2024年7月号に掲載します。
- *7月25日の申込み締切期限までに大会参加申し込みをし、参加費振込を完了した方には、レポートダウンロード用のURLをお知らせします。8月1日よりダウンロードすることができます。
- *締切期限までに申し込んだ方は、第1・第5分科会以外はオンライン参加もできます。

第1分科会 地域の掘りおこし 日本の各地域には、まだまだ知られていない埋もれた歴史があります。それを掘りおこす方法を学びあい、教材化していく努力を続けています。 ※	第2分科会 日本近代代 これまでの日本近代代分科会の成果に学びつつ、小学校から高校までの授業実践や教材研究の報告を通して、豊かな前近代史像認識と授業づくりを中心に議論します。
第3分科会 日本近現代 地域に根ざした歴史研究のあり方、研究成果を教材化する 方法、実践を通じ子どもの歴史認識をどう育てるかを考 え合います。敗戦79年にどのような近現代史学習が必要か 考え合しましょう。	第4分科会 世界 様々な「歴史総合」の授業実践が報告されます。また、 「世界史探究」の授業づくりを視野に入れ、前近代・近現代 の豊かな歴史認識や戦争認識を獲得し、現代の諸課題につ いて学び合います。
第5分科会 憲法と現代の社会 憲法改悪の情勢を踏まえて憲法学習の在り方を実践的に 検討します。高校の新科目「公共」での憲法の扱い方や18 歳成人をふまえた主権者教育についても討議します。 ※	第6分科会 思想・文化・文化活動 地域の歴史や文化財の価値を掘りおこしたり、地域で行 われてきた活動を新たな視点で考えたりしながら、それら を保存・継承していく活動を報告し合います。
第7分科会 現代の課題と教育 現代社会に存在する、様々な民族・文化の共存と人権問 題に目を向けます。地域の直面している課題から学びレ ポート討議を通じて現代の課題を追っていきます。	第8分科会 平和教育 戦争が続き、日本も戦争をする国に変わろうとしている いま、戦争の歴史を学び、戦争の記憶を受け継ぐこと。平和の 希望をどのように見いだすのか、全国からの実践を交流し、 討議を深めます。
第9分科会 幼年・小学校低学年 幼児期の教育や保育の中で大切にされてきたことを低学 年の教育の中でどう受継ぎ育てていくのか？ 絵本の読み 聞かせ実践や在日朝鮮学校との交流など他にはない豊かな 経験を基に話し合います。	第10分科会 小学校3・4年 初めて社会科学習に出会う子どもたちの期待に応える社 会科づくりを考えます。学校や地域の歴史や文化財、また地 域が抱える課題をどう教材化して授業を進めるか具体的実 践を通して交流します。
第11分科会 小学校5年 地域も日本も世界もなんでもあります。5年生はだから 面白いんだな、コメ、牛、ミカン、国境や政治のことも。 教科書があれば全部やります。みなさん、劇的に授業を変 えてみませんか。	第12分科会 小学校6年 子どもたちの現状をふまえた教材や授業のあり方を考え ます。何よりも、子どもたちの視点を大切にし、地域に根ざ した歴史、地域、政治学習などを交流し合しましょう。
第13分科会 地域の中の子どもたち 子どもたちの現状を以下の内容を受けて、地域から考え ます。現代のメディアと子ども、不登校、フリースクールの 取り組み、授業4年生暮らしと水、少年団活動、36年前 のスウェーデンの放課後の発達。	第14分科会 中学校(地理と分野を超えた分散会) 世界や日本の現実を踏まえ、地理学習をどんな構想で取 り組んできたか、また、分野を超えて3年間の社会科で何を 大切にしているかを進めていくのかを交流しましょう。
第14分科会 中学校(歴史分散会) 現代を生きる中学生にとって、歴史を学ぶとはどうい うことでしょうか。中学生が切実感を持って学びたい歴史 学習とはどんなものかを実践をもとに話し合います。	第14分科会 中学校(公民分散会) ウクライナ戦争やイスラエルのガザ地区攻撃という現実。 平和、人権、民主主義を掲げ、未来を形成する主権者を育む 中学校で、様々な現実を自分事として考え行動する市民を どう育てるか議論します。
第15分科会 高校 新学習指導要領が2022年度より始まり、今回の改訂で 「歴史総合」「地理総合」「公共」という新科目が登場しま した。歴教協の実践の積み上げをもとに新科目の可能性につ いて探ります。	第17分科会 障がい児教育 ポストコロナ期に入った今、特別支援教育をめぐる環境は 改善に向かっているのでしょうか。特別支援教育を必要とする 子どもたちの実態や教育実践を議論したいと思います。
第18分科会 父母市民の歴史学習 市民との歴史学習をどう進めていったらよいかを討議し ていきます。新しい視点での歴史学習や戦争展・平和学習、 日本国憲法にかかわる報告などが発表され、熱い討議がされ ています。	第19分科会 社会科の学力と教育課程 社会科の理論と実践を通して、児童・生徒が獲得する知識 や形成していった認識について論議します。また、どのよう な目標・内容・方法で計画され、実践されたのかを丁寧に検 討していきます。
第20分科会 授業方法 「子どもが考え活動する授業」・「子どもが伸びる授業」の 2つの柱に基づいて、参加者目線に立って意見を交流しま す。経験、校種を限定せず自由に議論できるので、学生や 若手にも人気の分科会です。	※第1分科会(地域の掘りおこし)と第5分科会(憲法と現代 の社会)は現地参加のみの実施となり、オンライン参加は できませんのでご了承ください。 *今年度は、第16分科会(大学)は実施いたしません。

1. 昭和天皇の戦中・戦後を最新資料で検証する 歴史教育者協議会委員長 山田 朗

最近「百武三郎日記」「昭和天皇御進講メモ」「拝謁記」など、戦中・戦後に昭和天皇に仕えた側近たちが残した日記やメモが、次々と公開されています。また『昭和天皇実録』全19巻も公刊されました。これらの資料によって、従来の昭和天皇についての記述や戦中・戦後の歴史はどのように変わってくるのでしょうか。日本の近現代史の専門家で、昭和天皇についての著述も多数ある山田朗委員長に縦横に語っていただきます。

2. ぼくと歩いて考える新宿・柏木 歴史教育者協議会副委員長 中條克俊

ぼくの故郷は新宿の柏木（現北新宿、西新宿）です。皆さんと一緒に「新宿裏町人生を探る―宿場町内藤新宿の遊郭・焼け跡闇市・ゲイタウン」と「柏木団の人々を探る―「大逆事件」と大杉栄・伊藤野枝・橘宗一虐殺事件」について振り返ります。「大逆事件」の幸徳秋水、菅野須賀子をはじめ堺利彦、山川均、大杉栄、森近運平たちが住んでいた柏木は初期社会主義運動発祥の地といえます。そして、なぜ大杉は虐殺されたのか、お話しします。現地見学の事前学習会にもなります。

3. 房総半島先端部の地震隆起と戦跡・平和交流を学ぶ NPO 安房文化遺産フォーラム共同代表 池田恵美子

房総半島先端の館山はプレート境界の影響により、地震隆起で形作られてきました。能登半島とは対峙する位置にあり、地形も似ています。また、東京湾口部の要衝として戦跡や中世城跡をはじめ、「噫従軍慰安婦」碑やハンブル「四面石塔」などの平和・交流を示す史跡も多くあります。授業づくりの掘りおこしから地域づくりに発展した「館山まるごと博物館」のエコミュージアム活動は、国際的にも注目されています。いつもと違う視点から足もとの地域像を見つめ直してみましょう。

4. 関東大震災と千葉県―船橋・習志野から考える朝鮮人虐殺― 千葉県における関東大震災朝鮮人犠牲者追悼調査実行委員会

1978年に発足した千葉県における関東大震災朝鮮人犠牲者追悼調査実行委員会は、その名の通り朝鮮人虐殺の実態調査と毎年行われる慰霊祭を中心に追悼活動を行ってきました。1983年には『いわれなく殺された人びと』（青木書店）を出版しましたが、本集いではその後の会の活動から、関東大震災における千葉県、特に船橋・習志野を中心にした朝鮮人虐殺の実態や特徴、遺骨発掘・慰霊碑建立、継承活動について報告します。

5. 私たちのモヤモヤ、みなさんのモヤモヤ ―加藤ゼミの学部生・院生との交流とディスカッション―

全体会では、質疑の時間を確保することは難しいため、登壇いただいたゼミ生のみなさんと交流していただく時間を設けました。同じく「モヤモヤ」を感じている若い世代の方々の参加も歓迎いたします。

6. 歴史家・歴史教育家高橋碩一と砂川闘争

成城大学研究員 高原太一

砂川闘争当時、高橋碩一は歴史家として、歴史教育者として砂川闘争にどのように向き合ったのか。砂川闘争研究者が掘り起こした元歴教協委員長高橋碩一と砂川闘争の関係を学びます。

7. 絵本で平和を語る

日本子どもの本研究会副会長 渡部 康夫 千葉県歴教協 木村 誠

ウクライナやガザをはじめ各地で紛争が続いています。戦争・紛争の最大の被害者は子どもたちです。戦火の映像を見る子どもたちは心を痛めています。絵本を通して、子どもたちと戦争と平和を考え、また、私たち大人も絵本から戦争の悲惨さを胸に刻みたいと思います。渡部康夫さんの報告「子どもと読みたい戦争と平和の絵本」と、木村誠さんの報告「絵本で平和を語る 朝鮮の絵本を中心に」をうかがい学びます。

8. 教科書問題 中学校（歴史・公民）教科書の分析

子どもと教科書全国ネット21事務局長 梶谷陽子 他

今年は中学校教科書の採択の年です。歴史・公民分野の記述がどうなっているのか、採択をめぐる動きについて学習・交流を深めます。また、教科書記述の問題点をふまえて、子どもの学びを保障する授業実践についても考えます。

報告1 中学校歴史教科書、公民教科書の分析

梶谷陽子（子どもと教科書全国ネット21事務局長）

報告2 「採択をめぐる大阪、茨城、神奈川での取り組み」

9. 日韓交流 2025年から使われる高校韓国史教科書紹介

韓国中央高等学校元教員 朴 範羲

韓国は2025年から新しい教育課程〔指導要領〕(2022教育課程)によって開発された教科書で歴史教育が行われます。今回の報告は2025年から高校1年生を対象に新しく教育する韓国史教科書の特徴と構成について簡単に紹介します。新しい韓国史教科書は以前と異なり前近代部分の内容が増加し、1987年以後の現代史の部分が強化されました。また増加する気候危機、環境汚染により関心が高まる持続可能な発展に基づく生態環境史の部分が強化されています。

10. 日中授業交流 南京からの高校の授業実践紹介

歴史教育者協議会日中交流委員会

日中交流委員会は、中国・南京の高校と授業交流や授業実践報告会を10年にわたって続けてきました。今年も南京の高校と遠隔でつなぎ、現地の教員が行った授業の内容を紹介いただきます。中国の歴史教育を知る貴重な機会となるだけでなく、歴史総合の授業を構想することにも役立てられる集いになると思います。

現地見学 〈企画〉歴史教育者協議会

*右の数字は定員、参加費（現地で集金します）

Aコース **ビキニ事件70年 都立第五福竜丸展示館見学（40人、1000円）**

8月5日 9:00 東京メトロ新木場駅（JR東日本・京葉線、東京臨海高速鉄道・臨海線が相互乗り入れ）改札を出た右前方の東京歴教協の旗のもとに集合→徒歩移動→夢の島公園→第五福竜丸展示館と野外展示（久保山愛吉記念碑、マグロ塚、第五福竜丸エンジン）見学、第五福竜丸展示館学芸員市田真理さんのお話→11:50 第五福竜丸展示館前解散

Bコース

歩いて考える新宿・柏木（定員に達したため締め切りました。）

案内者：歴史教育者協議会副委員長 中條克俊

8月5日 9:00 新宿花園神社本殿付近集合（東京メトロ丸ノ内線・副都心線・都営新宿線 新宿三丁目駅 E2出口からすぐ）→花園神社（新宿総鎮守）→《テーマ1：新宿裏町人生を探る》新宿ゴールデン街（闇市の代替地）→成覚寺（投げ込み寺）→正受院（奪衣婆像）→太宗寺（内藤家菩提寺）→新宿2丁目（旧宿場町・元赤線地区・ゲイタウン）→《テーマ2：柏木団の人々を探る》「大逆事件」と大杉栄・伊藤野枝・橋宗一虐殺事件）青峰観音（旧市谷監獄斬首刑場跡地）→永井荷風「断腸亭」跡地→東京監獄市ヶ谷刑務所跡地「刑死者慰霊塔」→島崎藤村旧宅跡地（小説「破戒」執筆地）→ラフカディオ・ハーン旧宅跡地（小泉八雲終焉地）→昼食休憩（韓国料理 12:45～13:25）→幸徳秋水旧宅→柏木団のメインストリート（郡役所通り＝現新宿税務署通り）→堺利彦旧宅、森近運平旧宅、大杉栄・堀保子旧宅、菅野須賀子・荒畑寒村旧宅、荒畑寒村・村木源次郎・佐藤悟・宇都宮卓爾・百瀬晋旧宅→大杉栄・伊藤野枝・橋宗一拉致・連行現場→大杉栄・伊藤野枝旧宅跡地→神谷荘跡地（元中国人留学生寮）→柏木平民社跡地→大久保平民社跡地→日本キリスト教婦人矯風会→千駄ヶ谷平民社跡地→16:30 正春寺（菅野須賀子墓碑）解散 新宿駅まで徒歩10分

Cコース

明治大学平和教育登戸研究所資料館が問いかける戦争（25人、1000円）

案内者：歴史教育者協議会元事務局長 渡辺賢二

8月5日 9:15 小田急線生田駅改札口→徒歩移動→明治大学生田キャンパス内の史跡見学→明治大学平和教育登戸研究所資料館見学→12:30 資料館にて解散
登戸研究所は、戦前日本の戦争・軍隊の「秘密戦」（防諜・諜報・謀略・宣伝）という側面を担っていました。「明治大学平和教育登戸研究所資料館」は、登戸研究所を戦争遺跡とし、大学として歴史教育、平和教育、科学教育の発信地として、記録の保存・活用をめざし、地域の住民・教育者の方々と活動を続けてきました。生徒とともに調査にとりくんだ渡辺賢二さんの案内で巡ります。

Dコース

砂川闘争を歩く（定員に達したため締め切りました。）

案内者：成城大学研究員 高原太一

8月5日 9:00 立川駅東改札前（new days 横）集合→駅ロータリー（建物疎開跡地）→陸軍／米軍旧正門跡地→ファール立川→昭和記念公園みどりの文化ゾーン（トイレ休憩と行程の解説）→陸上自衛隊立川駐屯地正門→バスで砂川五差路に移動→旧拡張予定地→五日市街道→阿豆佐味天神社→旧砂川村役場→「平和の礎」→砂川平和ひろば（休憩と見学、福島京子さんとの交流）→バスにて立川駅へ移動→12:30 立川駅北口バスロータリー解散

※現地見学の受付締切は、7/15（月）ですが、定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。各コースとも、大会参加が条件となりますが、定員枠に余裕がある場合にかぎり、現地見学だけの参加も受け付けます。受付状況は歴教協 HP でお知らせしますのでご確認ください。

大会申込みについて

■大会参加のしかた

東京大会は、大会会場である明治大学和泉キャンパスでの現地参加のほか、オンラインでも全体会・地域に学ぶ集い・分科会に参加することができます。参加費は、現地参加もオンライン参加も同額となりますが、オンライン参加は7月25日以降の受付はできませんのでご注意ください。

■申込み受付期間

事前申込みは、2024年6月3日(月)～7月25日(木)です。当日受付もありますが、参加費が変わります。現地見学を申し込む方は7月15日(月・祝)が申込み締切です。

■申込み方法

次のように、①web申込みまたは②FAXでの申込みのどちらかでお申込みください。

- ①歴教協ホームページから大会参加申込みページを開いて、必要事項を入力して送信してください。
- ②歴史教育者協議会事務局にFAXで連絡し、申込書類一式を入手・記入後、歴教協事務局にFAXか郵送でお送りください。

■申込み後の流れ

1) web申込みの場合

申込み確認後、予約確認メールを受け取った方は、予約確認書記載の代金を、指定のゆうちょ口座に申込み日から1週間以内に入金してください。ただし、7月24日以降の申込みの場合は30日までに入金をお済ませください。入金をもって申込み完了となり、レポートダウンロード用のURLをお知らせします。30日までに入金いただけないと、レポートのダウンロードはできません。

2) FAXでの申込みの場合

申込書が届きましたら、郵送にて予約確認書と振込用紙をお送りいたします。予約確認書を受け取った方は、書類到着から1週間以内に参加費を入金してください。7月24日以降の扱いは、1)と同じ。

3) 申込み後のキャンセル…大会参加申込みページに掲載する「申込みのご案内」をご参照ください。

4) 会場参加者は、事前申込み締切後にお送りするメールに添付する参加票をプリントアウトして持参するか、ダウンロードして受付で画面を提示してください。

5) オンライン参加には、8月1日までに送られる全体会・地域に学ぶ集い・分科会のURLにしたがって、所定の時間に入室してください。

■保育・出張依頼状など

*保育をご希望の方は、6月30日までに事務局までご連絡下さい。保育料はお子様1人につき1日5000円です。対象は年少から小4までとします。

*出張依頼書が必要な方は事務局までお問い合わせください。

*宿泊ホテル紹介をご希望の方は、下記にお問い合わせください。

(株)富士国際旅行社 TEL 045-212-2101

〈宿泊申込みURL〉 <https://web.gogo.jp/fits-tyo/form/rekkyo2024>

主催 一般社団法人 歴史教育者協議会 第75回東京大会実行委員会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル 歴史教育者協議会内
TEL 03-3947-5701 FAX 03-3947-5790
E-mail jimukyoku@rekkyo.org <https://www.rekkyo.org>
振替 00190-5-718665 (当座 〇一九店 718665)

